

JAしまねびより

2020
12
December
Vol.57

特集 SDGsってなんだろう？



島根の
いいもの再発見!!

島の香り 隠岐藻塩米

[隠岐郡隠岐の島町]

詳細は6ページへ



JALまね やすぎ地区本部版

topics 1

中国・四国地区JA青年大会
島根が最優秀賞と優秀賞に輝く！



「中国・四国地区JA青年大会」が11月4日、岡山市で開催され、島根県大会で最優秀賞に選ばれた2人がWEB形式で出場しました。

毎年この大会は、JA全国青年大会の地区代表選考会を兼ねており、今回、JA青年の主張の部で斐川青年連盟の伊藤尚幸さんが最優秀賞に選ばれました。また、JA青壮年組織活動実績の部では、やすぎ青年連盟の北中宏一さんが優秀賞に選ばれました。

斐川青年連盟の伊藤さんは、「日々挑戦する事の意味」と題して、所属する農事組合法人アグリード羽根で洋菓子店の食創工房「レコルト」をオープンするまでの苦労や応援してくれる仲間の大切さなどについて発表しました。やすぎ青年連盟の北中さんは「盟友のお嫁さん探し」と題し、農家の嫁不足解消の取り組みをユーモアを交えながら発表しました。

最優秀賞の斐川青年連盟の伊藤さんは、2月に開催予定のJA全国青年大会に出場されます。

JA島根青年組織協議会の今後の活躍が期待されます。



JA青年の主張の部 最優秀賞を受賞した伊藤さん

topics 2

地域の特産についての
授業を実施



熱心に説明を聞く児童ら

ました。

同組合は、地域の活性化やPRの一環として授業や作業場の案内を行っており、今回、地域の特産品を学ぶ同小学校からの依頼を受け実施しました。当日は組合員が生産方法や作業工程、畑地区の気候や風土が品質に結びついていることを分かり易く説明。その後、児童らは作業場や収穫した柿を干すまでの工程の実演を見学しました。

森広護組合長は「地域のすばらしい特産品を知り、地域のことをもっと好きになってほしい」と話しました。

授業を受けた児童は「おいしい干し柿になるまでに、たくさんのお苦労があることがわかった」と話しました。

畑ほし柿

生産組合は11月2日、松江市東出雲町の畑公民館で、特産である「東出雲の畑ほし柿」についての授業を、松江市立出雲郷小学校3年生に行い

topics 3

令和2年度地域貢献・
地域活性化団体活動表彰式



JAしまねは11月13日、松江市のホテル白鳥で令和2年度地域貢献・地域活性化団体活動の表彰式を行いました。

この取り組みは平成25年度より、地域力の向上を応援することを目的に「元氣な地域づくり」を目指した活動を行う団体を表彰・支援しています。

当日は、JA各地区本部が推薦する組合員や地域住民が構成員の団体を表彰し、石川寿樹組合長が各団体の代表者へ表彰状と目録を手渡しました。

受賞した海士町の太井地区恵比須神社祭り道中神楽代表の濱谷祐紀さんは「ターナー者を巻き込んで地域住民が一体となり、一時途絶えていた恵比須神社の祭り道中神楽を再興した。今後も地域に貢献し、後継者の育成につなげていきたい」と話しました。

その他の表彰団体は次のとおり

▽クラブ「むぎの会」(松江市)、ゆりかごの会(松江市)、Yama Sac Club(安来市)、城名樋会(雲南市)、隠岐島後認定和牛改良組合(隠岐の島町)、稗原ロマン倶楽部(出雲市)、下出来洲KH C(出雲市)、万九千社立虫神社神代神楽保存会(出雲市斐川町)、三瓶そば振興協議会(大田市)、特定非営利活動法人らんどぐざーむ(浜田市)、都茂郷愛好花クラブ(益田市)



賞状を受け取る太井地区恵比須神社祭り道中神楽 濱谷代表



喜ぶ受賞者らと石川組合長



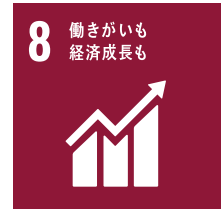
SDGsってなんだろう？



最近、新聞やテレビなどでよく聞くようになった「SDGs (エスディーゼズ)」という言葉。政府や自治体、企業などが積極的に取り組んでいることもあり、一度は目にしたり耳にしたことがあるという方も多いのではないのでしょうか？



とはいえ、SDGsの認知度はまだまだ低いのが現状です。今月はJAグループも積極的に取り組みに参加している「SDGs」について特集します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。私たち自身と、子や孫、さらにその先の世代も、豊かに安心してくらしていけるように2030年までに世界中で解決しなければならない課題を、大きく17の目標に分類したものがSDGsです。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択され、日本の政府も積極的にSDGsの目標達成に向けて、取り組みを進めています。さらに先進国、途上国、協同組合、企業など、すべての関係者による連携した取り組みが求められています。

基本理念は、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」と共通するものです。これの活動を通して、持続可能な世界をつくることに取り組んでいます。JA SDGsの目標達成に貢献しています。ご紹介します。



目標達成に貢献しています!

SDGs

- 「協同組合」というシステム自体によるパートナーシップの構築
- 国内外における協同組合間（JF、CO-OP等）の連携
- 国内における自治体、労働組合、NGO、NPO等との連携
- 農商工を中心とした企業との連携

17 パートナーシップで目標を達成しよう



販売事業とSDGs

JAしまねでは、地域で生産された新鮮な農畜産物が、地域内で直接販売され、最後まで安全に消費されています。また、6次産業化により生産振興や生産者手取り拡大につながるよう、地場産品による特産品開発・商品開発も進めています。

大量生産や大量消費という生産と消費の形態を続けていけば、持続可能な社会を実現することはできません。

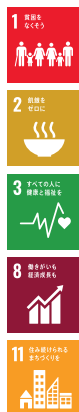
- 地産地消活動
- 直売所・ファーマーズマーケット
- 加工事業
- 販売促進活動



くらしの活動とSDGs

JAしまねでは、豊かでくらしやすい地域づくりのための、ふれあい活動として「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱とする「くらしの活動」に取り組んでいます。

活動を通じて「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指しています。



農福連携とSDGs

JAしまねでは、福祉施設利用者に農作業の施設外就労を依頼。人手不足で悩む地域の農業施設と、福祉施設利用者をつなぎ、農福連携に取り組んでいます。

- (社福)JAいずも福祉会が運営する「ぼてとはうす」の利用者に施設外就労を依頼



環境保全とSDGs

JAしまねでは、自然の恩恵を地域に根ざすエネルギーとして、小水力発電や太陽光発電等の、安全なクリーンなエネルギーの活用・確保に向けた取り組みを行っています。



施設利用者が就労する出雲やさしい新話ファーム



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAしまねが掲げる「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」というSDGsはすべての国と人が目指す共通の目標で、世界中の人々がそれぞれしまねでは、組合員と地域の暮らしを守ることを目的に、自己改革を通じて今月は、JAの取り組みがSDGsの目標にどのように繋がっているのか

JAしまねはSDGsの

女性部・青年部とSDGs

- JAしまね支店ふれあい活動・JA女性部統一行動「おもてなしプロジェクト」の実践



- JAしまね、JAしまね女性部、島根県農協青年組織協議会が協力し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により困窮している大学生へ米を支援



- 地域の方や、子どもたちに向けての農業体験、食農教育活動



この特集誌面は、一般社団法人家の光協会の「1時間でよくなるSDGsと協同組合」より一部抜粋しています。

SDGsとは何か、どう活用すればいいのか、協同組合は目標達成のために何が出来るかなど、基本からわかりやすく解説。
定価(税込)／660円



【お問い合わせ先】お近くのJAしまねの支店へお問い合わせください。

JAしまねと

農業協同組合は、設立以来SDGsの目標に親和性のある取り組みを続け、国内外における協同組合間の協同に早くから取り組み、自治体や企業、NGO、NPOとの連携も広がっており、世界から大きな期待が寄せられています。

様々な問題をみんなで協力して解決していく協同組合の組織の基本は、「パートナーシップで目標を達成しよう」の17目標そのものです。



農業振興とSDGs

JAしまねでは、持続可能な農業を実現するため、様々な担い手に対して積極的な支援、活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指しています。

- 新規就農者を含む地域の担い手の育成
- TACによる事業継承支援
- 営農指導での生産者貢献
- 農業振興支援事業の実施
- スマート農業の推進
- 島根県産農畜産物の安全安心の取り組み など



購買事業とSDGs

JAしまねでは、組合員・地域住民の豊かなくらしを支援するため購買事業に取り組んでいます。

- 農薬・肥料等、生産資材の価格低減
- 自動車燃料事業の取り組み
- 店舗・組織購買の取り組み



普段取り組んでいる活動が、SDGsにつながっているね

島根には誇れる
農産品がた一つくさん!

島根のいいもの 再発見!!

[直撃・生産者インタビュー]

隠岐郡隠岐の島町

島の香り 隠岐藻塩米

今月は、隠岐地区本部です。隠岐郡隠岐の島町旧五箇村に位置する圃場で、今年から全面的に藻塩米をきぬむすめに切り替え栽培を開始された、島の香り隠岐藻塩米生産部会副部会長の石田哲広さんにお話を伺ってきました。

島の香り隠岐藻塩米とは

五箇地区内を中心に全体で12haの田畑で米や蕎麦、黒大豆などを栽培している石田さん。令和2年度はそのうちの4・2haで「藻塩米きぬむすめ」を栽培しました。

藻塩米は、島の特色を生かした製法で作る特別栽培米（減農薬、減化学肥料）で、穂が出てから収穫までの間に藻塩の水溶液を噴霧して栽培します。海藻アラメを田んぼに肥料として播（ま）いていた伝統農法を現代版にアレンジして作り始めました。日本では珍しいアルカリ岩から構成する島のキメ細かい土には、マグネシウムが県内の平均より1・5倍前後多いとされています。さらに特徴的なのが、藻塩を薄めた水



藻塩の水溶液を噴霧して栽培する



お話を伺った
石田哲広さん

溶液の噴霧。稲に極限までストレスをかけ、ミネラル成分を根と葉からたっぷり吸収させ、養分を蓄えることで美味しいお米ができます。特選以上は主に関東・関西・中京方面を中心に出荷し、米専門店などからも高い評価を得ており、島根のブランド米となっています。

挑戦することが農業の醍醐味

石田さんが本格的に米作りを始めたのは平成26年。高校を卒業後、地元企業で勤めながら家業の田畑を手伝っていました。将来のことを考え兼業ではなく、専業で米作りをしようと農業の道を選択しました。JAや役場、今の生産部会の村上淳一部会長にもサポートしてもらい、様々な制度等も活用し、親からの経営委譲というかたちで新規就農しました。

就農当時、既に藻塩米の生産方法は、確立され安定した生産ができ、販売についても順調に推移しており成熟期にあります



「美味しまね認証」も取得!

した。ただ、生産部会としては、それに甘んじることなく前進しようとして「美味しまね認証」を取得した生産者に限り、藻塩米きぬむすめの生産をするため差別化を図ることとしました。

「美味しまね認証」

には、設備投資等クリアしなければならないことがありましたが、石田さんは自作で作業場を作ったり改修したりといろいろな人の助けを借りながら認証を取得しました。この経験で改めて勉強になることもたくさんあり、自身の農業を見つめ直す機会にもなったそうです。

スマート農業にもチャレンジ

ご自宅にお邪魔した際、まず目に飛び込んだのがドローン。藻塩米のプロモーション用に稲作風景や隠岐の島の魅力を伝える風景などを撮影し、販売先でお客様に見てもらっているとのこと。

昔から機械いじりが好きで、若い頃は車を自分でいじって遊んでいたそうです。今では農機具のメンテナンスにすごく役立つっており、部品の交換などはほぼご自身でされます。

ドローンもそうですが、農業に使える機械や技術がここ数年で飛躍的に伸び



藻塩米PRに
一役買っているドローン



石田さんが作った作業場…立派です

てきており、石田さんも今年からGPSを利用した高精度ガイダンスシステムを導入し、耕耘作業や田植え作業の効率化、省力化、高精度化に取り組み始めました。またアグリノート（スマホやタブレット入力）の栽培・作業履歴の管理の導入による生産工程管理の徹底も行っています。今後は、農機具の自動操舵化や農薬散布のドローン導入など、さらに効率化・省力化を目指しています。



ドローンの操縦はお手のもの

人との関わりを大事に、次のステップへ

認定農業者となり、生産部会の副部長も務めるようになった石田さん。先輩方比べて経験は浅いですが、やっているのと良いことも辛いこともたくさん経験しました。

今年の夏は、水害で機械が全て水に浸かりましたが、周囲の人の協力もあり、修理・メンテナンスをしてなんとか収穫に間に合やすことができました。ただ、こうした辛いことも、消費者に「おいしい」と言っていたくことで全てが吹き飛びます。

販促会で東京に行った時のことです。お世話になっている米屋さん、自分の名前の入った藻塩米を一生懸命売っている姿を見た時には、嬉しいとの感情と同時に「自分たちも、もっともっと頑張って、美味しい良い米を作らないと！」と身が引き締まる思いがしたそうです。

隠岐の島から「島の香り」を伝え、届け続ける！

隠岐でも耕作放棄地が問題になっています。放っておけば確実に田畑は荒れていきます。石田さんは、島の農地を守るため、こうした放棄地を借受け、活用していく努力もしています。ブランド米として評価を受けるようになるまでに、JAや役場、関係機関、問屋、米屋など挙げればきりが無いほど多くの方にお世話になったそうです。

「これからも人と人の繋がりを大事に、高品質化・生産量アップ、美味しまね認証による安心・安全な米作りを目指し続けていきます。産地でできる努力を積み重ね、磨きをかけ、美味しい「島の香り隠岐藻塩米」を届けることこそが皆さんへの恩返しになると確信しています」と将来像を描く石田さんでした。

島の香り隠岐藻塩米生産部会のみなさん



一口メモ

島の大地を作るアルカリ岩の水通しの良さから良質な水資源が豊富な隠岐の島。透き通った水と、綺麗な海水に海藻と一緒に煮詰めて作った赤茶の藻塩を活用した「島の香り隠岐藻塩米」は、島根が誇るブランド米のひとつ。炊き上がりはふっくらモチモチで、「甘み」と「香り」のある独特な美味さが特徴です。ブランド米は多少割高ですが、その美味しさは全国に知れわたり、人気となっています。

- 購入方法・お問い合わせ先 ●
JAしまね 隠岐地区本部
電話 08512-2-1133



隠岐の島のこだわり米「島の香り 隠岐藻塩米」の公式アカウントです！季節とともに移り変わる藻塩米の情報、産地である隠岐の島の様子などを発信していきます！

<https://www.facebook.com/moshiomai/>

部会オリジナルの
ポロシャツとマスク





石見銀山女性部

石見銀山女性部は、東西に長い島根県の真ん中に位置し、世界遺産と日本遺産のある大田市で活動しています。

女性部といえば食と農! 次世代を担う子供たちに地元の味を知ってもらおうと、かぼちゃやフキ、サトイモの学校給食への提供や、伝統料理である「箱寿司」の出前講座を行っています。また、地元ケーブルテレビの料理番組に出演し、地産地消レシピの普及にも取り組んでいます。

地域のことも勉強しています! 積極的に地域を学ぶ機会を作っており、世界遺産である石見銀山遺跡では研修会を毎年行っています。また、去年は戦後の農村女性の地位向上に尽力した地元女性部員の活動とSDGsについて寸劇を行い、県内外の多くの方にご披露しました。

私たちは、これからも次代へ文化と歴史を引き継ぐため、ふるさとを知り、地域を元気にする活動を行います。



サトイモ会



箱寿司



一所懸命青年連盟



JA YOUTH

JAしまねいわみ中央青年連盟

さ さ き まさ し
佐々木 正志さん



佐々木正志さん(41)は浜田市三隅町で西条柿を3.4haで生産しています。

全くの素人だった佐々木さんは14年前、西条柿の生産者である父親が病気になったことで急遽引き継ぐことになり、兼業農家として就農しました。今では「生産者の高齢化が進む中、自分が地域の中核として圃場を守っていきたい」と話します。

農青連に加入して今年で4年目。現在は同連盟の副委員長を務めています。「若い農業者の意見や悩みを聞き一緒に考えることは、きっと自分の成長にもつながる」という思いを持って加入し、頼れるリーダーとして活躍しています。

今年から農業系の高校に通うようになった息子さんが「自分の背中を見てくれている」と感じるそうです。「息子が将来、次世代の担い手として活躍できるような土台づくりを目指し、“何にでも挑戦する”をモットーにこれからも日々努力していきたい」と熱く語りました。



あなたもチャレンジ 家庭菜園

ニンジンの トンネル栽培

とう立ちさせない温度管理を

ニンジンの発芽適温は15～25度で発芽には10度以上、生育適温は18～21度です。緑植物春化型といい、ある程度の大きさになり、低温に遭遇すると花芽が形成され、その後の長日と高温でとう立ちが始まる野菜です。



園芸研究家 ● 成松次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

土寄せ

間引きと同時に土寄せを行い、さらに収穫期近くには、根の肩の部分にさらに土寄せして、根が緑に着色するのを防ぎます(図4)。

収穫

根の径が4～5cmに肥大した株から順次抜き取ります。太り過ぎて裂根しないうちに収穫をします(図5)。裂根は急激に肥大する生育後半、畑が乾燥または過湿となる水分条件で起きやすいものです。

品 種

春まき用にはとう立ちがしにくい品種を選びましょう。どんな土壌にも適し、作りやすい「向陽二号」(タキイ種苗)、草勢が強く、芯まで鮮紅色になる「ちはま五寸」(横浜植木)などがあります。なお、暖地向きの「黒田五寸」はとう立ちの早い品種です。

畑の準備

種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまき、30cm程度の深さに耕します。1週間前に、化成肥料(NPK各成分で10%)100～150gと完熟堆肥2～3kgを施し、土とよく混ぜておきます。

条間15cm、株間15cmなどの穴開きマルチ資材の規格に合わせた70～80cmのベッド幅を作ります。マルチは早めに張って地温を上げておきましょう。

種まき

温暖地では1～2月から種まきができますが、家庭菜園では3月まきが安心です。穴開きマルチでは、1穴に5～6粒まきます(図1)。

図1 種まき

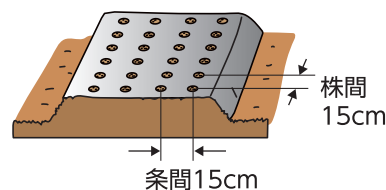


図2 トンネルの設置

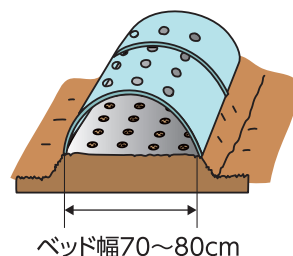


図3 間引き

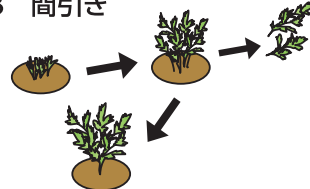


図4 土寄せ

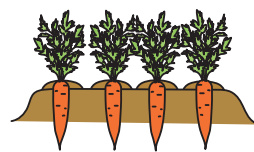


図5 収穫



トンネルの設置

換気作業を省力化するには穴開きのトンネル資材(農ポリ)を選ぶと良いのですが(図2)、普通の農ポリでは生育に従って裾を上げて換気をします。さらに、トンネル内の茎葉が茂り、いっぱいになればトンネルを外します。

間引き

1回目は本葉2～3枚のときに2～3本、2回目は5～6枚のときに一本立ちにします(図3)。

理事会情報 (10月29日開催)

【協議事項】

- ① 旅行事業の統一と移行に伴う機構改革の実施について
- ② 令和2年度補助事業の実施について
- ③ 令和元年産島根米の最終精算について
- ④ 令和2年9月末仮決算について
- ⑤ 大口貸出金の承認について
- ⑥ 出資口数の減少(減口)の承認について
- ⑦ 行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
- ⑧ 令和3年1月からの専門委員会の委員選任について(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

上小竹地区ラジコン草刈り機導入



急斜面のあぜなどが多くあり、標高200m以上に位置する中山間地域の伯太町上小竹地区は、ハイブリッドラジコン

草刈り機「神刈」を導入しました。同機は、無線操作で最大175mの通信と最大傾斜角度が45度まで作業可能で、刈り草は飛散が少なく、細かく刻まれるため集める手間が省け手軽に処理ができます。機械の導入により作業負担の軽減と安全な場所から作業ができるためケガや転倒、転落などの事故リスク低減を期待します。

10月14日には試運転が行われ、同地区の住民やメーカー、JA職員など20名が集まり、操作方法や管理方法などを確認。1時間かからず急斜面のあぜを1本刈りとり、性能とスピード（作業効率）を実感しました。同地区代表の安野豊昭さんは「中山間地域では夏の草刈りが一番大変。ラジコン草刈り機の導入で作業負担を軽くしたい」と話しました。

中学校で自転車交通安全教室開催

やすぎ地区本部とJA共済連島根は11月10日、島根県警察本部と連携して、安来市立伯太中学校の全生徒を対象に自転車交通安全教室を開催しました。この教室は、スタントマンによる危険な自転車走行に伴う交通事故を再現することで、生徒に交通事故の危険性を疑似体験させ、自転車の安全利用を伝える目的で開催しています。

当日は、スタントマンが自転車の急な飛び出しで車と衝突する事故、自転車同士や歩行者との衝突事故、トラックの下敷きになる巻き込み事故などを迫力ある演技で再現。間近で再現スタントを見た生徒は「目の前で交通事故の再現を見て怖いと感じ、自分の命は自分で守れるよう交通ルールを守っていきたい」と話しました。また、今回の教室にあわせ事故防止に役立ててもらおうと、全生徒に自転車用夜光反射バッチを贈呈しました。



安田小 バケツ稲で米作りを学ぶ

安来市立安田小学校の児童20名は10月8日、5月に植えたバケツ稲の収穫を行いました。当日は、鎌の使い方をJA職員から教わり、自分で育てた稲を刈り取りました。収穫後は、玄米と白米を見比べ、クイズを交えながら収穫された稲が白米になるまでの過程や田んぼにいる益虫などについて学びました。



また、児童が育てたバケツ稲の中には生育がうまくいかなかったものもあり、児童はJA職員と一緒に「なぜ稲の生育がうまくいかなかったのか？」を考え、水不足や日照不足、苗の間隔が狭いなどの様々な意見を出し合い、米作りについて理解を深めました。体験を終えた児童は「普段食べて



いるご飯が、白米になるまですごく大変だとわかりました。今後はそのことを思いながらかご飯を食べます」と話しました。

新米とまいもん祭開催

やすぎ地区本部は10月17・18日、道の駅あらエッサで新米イベント「新米とまいもん祭」を開催しました。JAしまねの金芽米をはじめ安来産の新米9種が店頭に並び、2日間で約90袋を販売しました。イベントではJA新入職員も参加し、「新人」という意味



の新米とお米の「新米」を掛け「新米職員」として、BG無洗米や金芽米の特性、品種の特徴などを消費者の方へ説明し新米をPRしました。

また、お昼ときには炊き立ての新米を2日間で400杯ふるまい、テイクアウトのかき揚げやコロックなどを販売しました。新米を味わった方は「おいしい新米が出てきて秋を感じます」と笑顔をみせました。その他にも新米のすくいどりが行われ、多くの方がイベントを楽しみました。新米職員の樋口賢実職員は「安来には美味しいお米がたくさんあるので、今後も安来産米の魅力を伝えていきたい」と意気込みました。

女性部・農青連が園児とサツマイモ収穫

やすぎ女性部とやすぎ青年連盟は10月19日、広瀬町の圃場で社会福祉法人明星会ひろせ保育園の年長組と年中組47人と一緒にサツマイモを収穫しました。この活動は地元の園児に土や農作物に直接触れてもらおうと、食農教育と地域交流を目的に5月の定植と合わせて毎年行っています。しかし今年の新定植は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため園児の参加は中止。両組織は水やりや草取り、イノシシ対策などを行ない、園児との収穫を心待ちにしていました。



当日園児は、女性部員と農青連盟友に手伝ってもらいながら、紅あずま700株のサツマイモを掘りおこし約150kg収穫。掘りおこしたサツマイモを見て歓声上がり、園児は収穫したサツマイモを持ちながら「大きいのがとれた！」と笑顔浮かべ、収穫を楽しみました。

赤屋小 地域ともにサツマイモ栽培

安来市立赤屋小学校の1、2年生5人は10月28日、伯太町新田谷地区の住民とサツマイモ収穫を行いました。同地区は国の多面的機能支払交付金を利用し、使用されなくなった畑で同校の児童とサツマイモを毎年栽培しています。この活動は子どもたちとの交流や食農教育にも繋がっています。



5月の定植では紅はるか1,000株を植えており、当日児童は同地区の住民やJA職員と一緒に、ツル刈りやマルチ剥ぎを体験し、その後、次々と大きなサツマイモを収穫していきました。作業を終えた児童は「たくさん大きなサツマイモがとれてうれしかった」と話しました。



中国・四国地区JA青年大会出場



中国・四国農協青壮年組織協議会は11月4日、中国・四国地区JA青年大会を開催しました。島根県代表として「JA青壮年組織活動実績」の部にやすぎ青年連盟の北中宏一さんが、「JA青年の主張」の部に斐川青年連盟の伊藤尚幸さんが出場しました。

また、今大会は新型コロナウイルス感染症防止のためオンライン中継で実施され、動画配信サイト「YouTube（ユーチューブ）」にもライブ配信されました。島根県代表の結果は次の通りです。

JA青年の主張の部
最優秀賞 伊藤尚幸さん（斐川）

JA青壮年組織活動実績の部
優秀賞 北中宏一さん（やすぎ）

比田小 ひろせ農青連とフラワーアレンジメント

やすぎ青年連盟ひろせ支部は10月15日、安来市立比田小学校の児童14名を対象に手作りフラワーアレンジメント体験教室を行いました。体験教室は3～6年生合同のクラブ活動の一環で行われ、今年で4回目。当日は、花農家の佐藤明次さんと香苗さんご夫婦が栽培したトルコギキョウやアスターなどを使用しました。

児童は作り方の説明を受けた後、色鮮やかな花の中から好きな花を選び、農青連盟友からアドバイスを受けながら、吸水スポンジが入ったカップに花を自由に活けていきました。それぞれ個性あふれる作品を完成させた後は、グループに分かれて各学年のクラスに飾る作品を相談しながら作りました。今回初めてフラワーアレンジメントを体験した児童は「ちゃんとできるか不安だったけど、キレイなのができた。今までは花に興味なかったけど興味湧いた」と話しました。



安来の元気な子ども達を紹介します！

MIRAI
KIDS

未来の 主役 たち

細田ひより ちゃん(3さい)

つむぎ ちゃん(7カ月)



最近「ひつじのショー」にハマっているひよりちゃんは、ポテトとチョコ、枝豆が好きな女の子。嫌いな食べ物は意外にもチーズで、この頃ABCが言えるようになったんだけ。また今は、おもちゃを片付けること、保育園で発表会があるそうで、その練習を頑張っているみたい。

離乳食をはじめたばかりのつむぎちゃんは、おてんばな性格の女の子。お粥をモリモリ食べるようで、特にカボチャが好きみたい。最近はジャンパーにハマっていて、足腰を鍛えているんだって。また、うつ伏せしているとお姉ちゃんが「カメさんになっているよ」と教えてくれるみたい。

そんな2人は、おじいさんとお父さんが庭に作ってくれた砂場とブランコで遊ぶのが大好き。今後は滑り台を計画中で、できるのを楽しみにしています。

～お父さん・お母さんより～

「いつもニコニコ笑顔のひよりちゃん、できることが増えてきてイタズラっ子になってきたつむぎちゃん。2人とも仲良しで、これからもたくさん一緒に遊んでね。これからどういう風に成長していくのか楽しみにしているね。」

福祉サービスセンターだより

年の瀬も 元気に！

デイサービスふれあいでは、ご利用者の皆さまとクリスマスツリーや干支作りを楽しみながら、元気に年の瀬を過ごしております。

クリスマスツリーは、松ぼっくりに飾りつけた「松ぼっくりツリー」を作り、干支作りは粘土で来年の干支「丑」をほのぼのと可愛らしく仕上げ、それぞれに味わい深い作品を作られました。また、ひ孫さんのためにクリスマスリースを何日も特別な思いを込めてつくられた方もおられました。

未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況ではございますが、どうか穏やかに明るい新年をお迎えください。



お問い合わせ

JAしまね やすぎ福祉サービスセンター
TEL：23-8230 FAX：23-8231



それぞれの顔・光る個性



思いを届けることができたリース

たいせつな人にのこしたい
知恵と意思と豊かな暮らし

12月号 第2 別冊付録
12月号 第1 別冊付録
1月号 第2 別冊付録
1月号 第1 別冊付録

『家の光』12月号・1月号
購読申し込み受付中

JAグループのファミリー・マガジン

定価(税込)
●家計簿・別冊付録付き12月号 1,027円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円 ●普通月号 629円

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL.03-3266-9039 <http://www.ienuhikari.net> お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ



女子大レポート

現代流冠婚葬祭マナー 講座

講師

池上 由美氏



今回の女子大は、冠婚葬祭に関するマナー講座を行いました。はじめにマナーの必要性や冠婚葬祭とは何かについて説明を受けました。続いて披露宴と葬儀の際の服装やふるまい、贈答のマナーとして水引の使い分けなどを学びました。受講中は学生から積極的に質問し、日頃疑問に思っていたことが解決できたようです。

学生感想

- ◆ どうしていいか分からなかったことが聞いて良かったです。
- ◆ 五節句という言葉をはじめて聞いたので、これから子供たちに伝えていきたいです。

年末店舗イベントのお知らせ

年の瀬市

グリーンセンター

場所 ひろせ・はしま店

日程 12月26日(土)~30日(水)

年末花市

道の駅あらエッサ内

場所 なかうみ菜彩館

日程 12月26日(土)~30日(水)

年の瀬市と年末花市では、しめ縄、お餅、黒豆などお正月用品を多数揃えておりますので、お買い物はJAの直売店舗で!

また、30日はみその日! 大正屋醤油店による金山寺みその実演販売を行います。年内最後のてんこもり!

みその日

道の駅あらエッサ内

場所 なかうみ菜彩館

日程 12月30日(水) 10時~
※無くなり次第終了

皆様のご来店をお待ちしております。

年末年始の営業時間のお知らせ

平素よりJAしまねやすぎ地区本部をご利用いただき、誠にありがとうございます。
各店舗・センターに関する年末年始の営業時間は、下記の通りとなります。

店舗・センター	休業日	臨時営業	通常営業
グリーンセンター ひろせ店	12月31日(木) ~1月5日(火)	12月27日(日) 8:30~14:00	8:30~14:00 定休日 日曜日
グリーンセンター はしま店	12月31日(木) ~1月5日(火)	12月28日(月) 8:30~16:00 ※なお、12月26日(土)~29日(火)は 営業時間を8:30~16:00に延長します。	8:30~14:30 定休日 月曜日
なかうみ菜彩館	12月31日(木) ~1月3日(日)		9:00~18:00 定休日なし
資材店舗サンサン	12月30日(水) ~1月5日(火)		9:00~18:00 定休日なし
農業機械 サービスセンター	12月26日(土) ~1月5日(火)		8:30~17:00 定休日 土・日曜日

お問い合わせ先

グリーンセンターひろせ店 TEL:0854-32-9333
グリーンセンターはしま店 TEL:0854-23-7288
資材店舗サンサン TEL:0854-28-7801

なかうみ菜彩館 TEL:0854-23-7310
直売店舗課 TEL:0854-28-7200
農機センター TEL:0854-22-6900

令和2年分農業所得申告用 農業経営データの申し込みについて

J Aでは農業所得申告に向けて、希望される方に農業経営データを提供しています。

令和2年のデータにつきましても、例年どおり自動更新で配布いたします。期中で経営移譲をされたり亡くなられた場合の新規、変更を希望される方は手続きが必要となりますので、お早めにお申し込み下さい。

提供データについては以下のとおりです。

1. 提供内容 指定 J A 貯金口座の令和2年分取引内容を集計したデータ
(一人あたり3口座まで)
2. データの種類

① パソコン用データ

- ◆エクセル用データ ◆ソリマチ農業簿記ソフト用データ
- ※CD-R、インターネットダウンロードでの配布となります。

② 帳票データ（紙に出力したもの）

3. 料 金
1世帯あたり500円（税込）
4. 申込締切 令和2年12月30日（水）
5. データ配布時期 令和3年2月上旬（※予定）



新規・変更の申し込み・お問い合わせは最寄りの支店・店までお願いいたします。

インターネットのできるパソコンをお持ちの皆様へのご案内

インターネットを利用して、農業所得申告用農業経営データをご自宅のパソコンに取り込むことができます!



J Aでは、ご自宅のパソコンに農業所得申告用農業経営データやプログラムを取り込むことができるサービスを提供しています。

利用登録して J A しまねやすぎ地区本部のホームページにアクセスすれば、パソコン用データやエクセルプログラムなどを必要なときにいつでもダウンロードすることができます。

一度登録をされますと、**次年度からは申し込み不要のうえ無料**（初年度登録料（ID、パスワード発行）：1世帯500円）でご利用いただけますので、この機会に是非このサービスをご利用下さい。

お問い合わせ

生産流通課 担当：松浦（TEL：0854-28-7800）

信用・共済窓口及びATM廃止のお知らせ

数年に及ぶマイナス金利政策など経済情勢により、JAを取り巻く環境は厳しさを増す中、当JAは昨年6月開催の通常総代会にて決定した中期経営計画（令和元年～令和3年）において、施設別（店舗、農業施設、支店、ATM）に採算性や効率性を十分に検討し、施設の集約や再配置、広域利用、運営方法の見直しを行うこととしております。

当地区本部においても、信用共済事業改革に伴う店舗のあり方とATMの再配置を検討する中で、やすぎ支店については近隣に複数の店舗及びATMが存在し、効率性の観点から安来東支店内へ窓口を移行（店舗内店舗）するとともにATMを廃止、また赤屋店ATMは利用件数が少なく、必要経費を含めた採算性を鑑み廃止させていただくこととします。なお、今回の店舗等の見直しに伴う資源は、金融サービスの一層の向上につなげるとともに、廃止するATMの最寄りのATMについて通帳繰越等機能充実を図る予定としています。

ご迷惑をおかけすることとなりますが、何卒皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

赤屋店ATM

令和3年6月30日(水) 廃止

※6月30日(最終日)は通常どおり(8:45~18:00)稼働

やすぎ支店ATM(旧.本所)

令和3年2月26日(金) 廃止

※2月26日(最終日)は8:00~12:00まで稼働

現在業務を行っていますやすぎ支店(旧.本所)窓口業務・ATMについては令和3年2月26日(金)をもって廃止し、3月1日(月)より安来東支店にて信用・共済部門を取り扱います。

なお、現在ご利用のやすぎ支店の貯金関係の口座番号は、変更ありません。

JALまね やすぎ地区本部



担い手に役立つ 営農技術や流通 盛りだくさん

購読のお申し込みはJAへ
購読料 1か月 2,623円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<http://www.agrinews.co.jp>

協同の輪を広げ 自己改革を進めよう JAグループ情報共有運動

人事異動 ◎異動（令和2年12月1日付）（ ）内は旧部署

▼営農経済部次長兼資材課長兼生活燃料課長・荒薦喜好（営農経済部次長兼資材課長兼生活燃料課長兼旅行センター所長）▼営農経済部生活燃料課・佐中繁俊（営農経済部旅行センター）

1月の外務日は
20日(水)・21日(木)
担当職員がお伺いします。

税務相談会日程

- 広瀬支店 12月21日(月)10時～12時
- 安来東支店 1月12日(火)10時～12時
- 伯太支店 1月12日(火)13時30分～15時30分
- 広瀬支店 1月21日(木)10時～12時

年金相談会日程

● 1月27日(水) 9:00～14:00 (安来東支店)

事前にお電話にて相談時間のご予約をお勧めします。
最寄りの支店または金融課(22-3752)までお問い合わせください。

以下のものをご持参いただければ、詳しいご相談ができます。

- ねんきん定期便 ●年金手帳及び年金番号通知書(ご本人・配偶者)
- 年金証書(ご本人・配偶者) ●年金請求書 ●認印 ●年金加入記録のお知らせ等



市況動向

島根中央子牛市場
(単位：円・頭)

種別区分	地区区分	安来地区	伯太地区	広瀬地区	地区平均	中央市場
雌	平均価格	748,157	712,360	700,333	726,660	713,568
	頭数	7	6	4	17	96
	最高価格	953,700	739,200	754,600	953,700	1,394,800
又キ	平均価格	818,950	815,833	828,911	823,969	800,254
	頭数	4	3	9	16	133
	最高価格	854,700	858,000	896,500	896,500	997,700
総平均価格		773,900	751,163	796,767	776,884	763,914
合計頭数		11	9	13	33	229

11月子牛市場県外移出頭数

	山口県	滋賀県	宮崎県	長野県	広島県	佐賀県	香川県	その他	合計	県外移率
雌	6	26	1	7	5	5	5	19	74	48.05%
去	39	8	28	7	5	4	3	13	107	47.35%
合計	45	34	29	14	10	9	8	32	181	47.63%

肥育センター5等級評価牛(11月出荷分)

血統	種別	枝重	格付	BMS
久茂福-百合茂-勝忠平	去勢	489.8kg	A5	8
花之国-勝忠平-安平照	去勢	469.2kg	A5	10
美津照重-安福久-平茂勝	去勢	467.6kg	A5	9
久茂福-百合茂-安福(岐阜)	去勢	501.6kg	A5	8

全国“続伸”もコロナ拡大で…

令和2年11月の全国主要子牛市場平均価格(全農・畜産生産部11月25日現在速報)は、雌683千円(前月比106%)、去勢780千円(前月比108%)で“続伸”の取引きとなっています。

本県11月の子牛市場は隠岐・西部・中央で開設し808頭の取引きがあり、平均価格は隠岐559千円(前回は60千円高)、中央764千円(78千円高)でいずれも“反発”、西部704千円(前回は74千円高)の取引きとなりました。隠岐市場は年3回の開催のため、上場牛の月齢にはかなりのバラツキがありましたが、標準的な発育の牛が多く見られました。中央・西部市場の上場牛は、一部過肥の牛も見受けられましたが、最近まれに見る発育の良い牛に仕上がっていました。

枝肉相場においては、新型コロナウイルス感染症が再び拡大傾向にあり、飲食店の客足も落ち込み始めている中で、コロナの懸念が払拭できないために一時の勢いを欠いているようです。今後年末までは、模様眺めの状況であり“弱保ち合い”で推移すると見られます。このことから食肉販売・小売業者にとっても販売不振により厳しい状況は変わりません。事態の早期収束を願うところです。

CrossWord クロスワード パズル Puzzle

二重マスの文字をA~Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ

1	6		10		17	20
		D				
2			11	14		B
3		8		15		
		9				21
	7			16	18	
4			12		19	
		A				
5			13			C

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で
利用することはありません。

タテのカギ

- ①羽根突きに使う道具
- ④すずりですります
- ⑥止まらず次に進むこと
- ⑦重さを知りたいときに使います
- ⑧テレビやエアコンに向けてボタンを押します
- ⑩ご飯のこと。焼き——
- ⑫いんちがいち、いんがに……
- ⑭——付きのタイで成人を祝った
- ⑰車が動きださないようにタイヤにかませます
- ⑱同種の事例は枚挙に——がない
- ⑳凍った場合は氷瀑(ばく)と呼ばれます
- ㉑ひもの——が固くてほどけないよ



ヨコのカギ

- ①一富士ニタカシナスビは、何に見ると縁起の良いもの？
- ②キャンパスの大きさを表すときに使う言葉
- ③港を表す地図記号はこの形
- ④強烈な悪臭がする液をお尻から噴射して身を守る動物
- ⑤1/100はセンチ、1/1000は
- ⑦なぜか猫が入りたがる物
- ⑨大豆や緑豆の種子を暗い所で発芽させた物
- ⑩物事をするのにちょうど良い頃合い
- ⑬おせち料理に入れる煮豆
- ⑮鶴は千年、——は万年
- ⑯ご飯のこと。カレー——
- ⑰ぬいぐるみに詰めます
- ⑲ピーヒョロロと鳴く大きな鳥

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名(ＪＡしまね全体)の方に「ＪＡ商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒692-0014 安来市飯島町1205-1

ＪＡしまね やすぎ地区本部 総務課 「クイズ」係

2021年1月8日(金) (当日消印有効)

◆ 先月号の答え ◆

「シュンギク」

ホ	シ	コ	イ	ビ	ト
コ	ー	ト	ワ	ギ	リ
リ	ケ	タ	サ	イ	
ウ	イ	ン	タ	ー	
キ	ス	カ	タ	レ	
ツ	ク	エ	ミ	シ	ン
ク	チ	ビ	ル	ユ	ズ

川柳の広場

最優秀賞

「もう」と「まだ」上手に使い生きる日々

出雲市 多久和敬子様

(評)暮らしの中で何度も思う「もうとまだ」です。消極的な「もう」と積極的な「まだ」ですが、上手に使うのも生きる知恵でしょう。

優秀賞

手ごころは距離を保って嫁姑

松江市 後藤 竹子様

トンネルを抜けたらきつといい走り

出雲市 加本 精一様

世渡りに表と裏の顔を見る

出雲市 野中 花蓮様

佳作

古希祝う息子のしぐさ亡夫に似る
GOTOに行けと止めるが綱を引く
鈴虫の秋の知らせになごむ胸
祭りなし静まり返る過疎の郷
晩秋の月も見守る秋祭り

出雲市 岩本 静代様
出雲市 山根 繁幸様
雲南市 秋風 和恵様
江津市 山形ゆうき様
浜田市 前田 隆行様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへも是非応募ください！

「家の光」1月号 定価922円。ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。(最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句)

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。

※1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。

※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。

※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1

JAしまね ふれあい福祉課

「俳句の広場係」または「川柳の広場係」

FAX: 0852-67-7708

Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「JA商品券1,000円分」をお贈りします。

健康 散歩

けんこうさんぽ



「お礼のお手紙」

12月号は、
いただいたお手紙を
ご紹介します。

|| 農業者・女性部健診で胃がん発見 ～「命拾い」感謝の手紙～

「安いし、受けてみるか」と気軽な気持ちでJAしまねの「農業者・女性部健診」を受けたところ、胃がんが見つかったという組合員の女性。健診結果と一緒に紹介状が届き、ご主人から「すぐに病院に行った方がいい」と促され受診し、手術を受けられました。その後、農作業ができるまで元気に。

いただいたお手紙には「家族や近隣の友人の助けに感謝しています」と闘病生活を振り返るとともに、自分は健康だと思いつづられていた方に、健康の大切さが伝わればとの想いがつづられていました。



|| 健康体操の動画配信 ～小学校からお礼の手紙～

当会保健師が考案し、ホームページで公開している「パプリカで健康体操」を毎朝実践する福岡県の須恵第三小学校から、お手紙をいただきました。

同校の先生が、児童の体力向上を目的とする取り組みを模索していたところ、この健康体操を知り、毎朝全校児童と職員が実践。この取り組みが地元メディアに取り上げられ、注目を浴びているそうです。

この度、児童のみなさんから「みんなで楽しく体操しています」と可愛いお礼の言葉が届き嬉しく思いました。「パプリカで健康体操」はこちらから→



児童からお礼のお手紙

自分の身体を守るのは自分だけです。できることから実践して、健康で楽しい毎日を過ごしませんか。健診やがん検診は毎年受けましょう。紹介状が出たら精密検査を受けましょう。運動やバランスのとれた食事ですて身体をつくりましょう。

JA島根厚生連



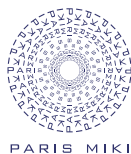
JAしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

おさいふカード
会員募集中!!

優待割引のお知らせ



JAしまね ×



メガネの三城

メガネ一式 10%OFF!!

補聴器 5%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗

島根県内メガネの三城 全店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問合せ



JAしまね

本店経済部生活課 [TEL] 0853-25-8907



島根うまれの食材レシピ

しまねうれしび

島根県立出雲農林高等学校「家庭クラブ」篇

今回の「しまねうれしび」は、昨年11月に開催された「第4回食の輝結び甲子園全国大会」で、みごと優勝された島根県立出雲農林高等学校「家庭クラブ」2年生のメンバーにオリジナルレシピを考案していただきました。

家庭クラブは、年間を通じて様々な料理コンテストに応募したり、各種イベントに参加したりしています。中でも同校の農業祭では料理の実演販売を行い、毎年長蛇の列が。昨年はチーズハットグとタピオカドリンクが300食以上売れ、大変な賑わいだったそうです。

また、近年では県内のホテルと共同でホテル内のレストランのメニューを考案し販売しており、料理を通じて地域の方々とつながり、活動の輪を広げています。

今回は、そんな家庭クラブの2年生9名が、島根県内の食材にこだわったオリジナルレシピを夏休み中に考案。その中から食品科学科の山田理水さん（上記集合写真 後列右端）のレシピが選ばれました。試行錯誤を重ね何度も試作し、完成させたそうです。

JAしまねは食を通じて、これからも家庭クラブの活躍を応援します。



家庭クラブ2年生のみなさん



「第4回食の輝結び甲子園全国大会」で優勝

山田さんに料理を作ってもらいました!



県内のホテルと新メニューを発案



食品科学科2年生 山田理水さんからひとこと

授業の実習で作った「出農ジャム」を使ったクリスマスのメニューです。このジャムを地域の方々にご紹介できる機会ができて、とてもうれしいです。

クリスマスに食べたい

鳥肉のマーマレード焼き



・AとBの分量を間違えなければ、お好みの野菜でアレンジできます。

●材料（4人分）

- 鳥むね肉……………320g
- ミニトマト……………8個
- 玉ねぎ……………小2個（または中1個）
- パプリカ…赤色・黄色各大1/2個
- ブロッコリー……………8かけ
- ローズマリー（乾燥したもの）…4枚

●作り方

- ①鳥むね肉全体をフォークで刺し、一口大に切る。
- ②ポリ袋にBと①を入れて揉みこんでおく。
- ③パプリカは種を取り、星形8個を型抜きし、残りは1cm角に切っておく。
- ④ブロッコリーは下茹でしておく。
- ⑤アルミホイルを30cm長さに切り、中央に2mm厚さにスライスした玉ねぎ、キッチンペーパーで水分を拭き取った②、パプリカ、ミニトマトの順で盛り、混ぜ合わせたAをかける。
- ⑥⑤にローズマリーをのせたら、アルミホイルでしっかり包む。

- 薄口しょうゆ……………大さじ2
- A ★出農マーマレードジャム…大さじ2（市販のものも可）
- マヨネーズ……………大さじ1
- B 塩……………小さじ1/2
- 砂糖……………小さじ1
- 塩（下茹用）……………1つまみ

- ⑦250℃に予熱したオーブンで10分焼く。（オーブンによって時間は調整してください）
- ⑧焼き上がった包みを皿に乗せ、アルミホイルを開き、茹でておいたブロッコリーを盛り付けて完成。

★出農マーマレードジャムとは、砂糖以外の食品添加物やゲル化剤、酸味料を加えずに、本校の食品科学科で作ったジャムです。

家族と楽しく

こたつで食べたいリンゴのアイス



・ジッパー付袋を振る⑥の作業は、家族で楽しみながら出来ると思います。

●材料（4人分）

- 生クリーム……………100cc（植物性も可）
- 牛乳……………50cc
- ★出農リンゴジャム……………大さじ2（市販のものも可）
- 砂糖……………20g
- 卵黄……………1個

●作り方

- ①ミックスナッツを刻み、予熱なしの160℃のオーブンで7分焼く。
- ②卵黄をほぐして、牛乳を加えて混ぜる。
- ③②に砂糖、出農リンゴジャムを加え、砂糖が溶けるまでゆっくり混ぜる
- ④③に生クリームを加えて、泡立たないように混ぜる。
- ⑤ジッパー付小袋に④を入れ、空気を残したままジッパーを閉める。

- 飾り用 ミックスナッツ（素焼き）…適量
- リンゴジャム……………適量
- ミント……………お好みで
- リンゴ……………中1/2個
- A バルサミコ酢……………大さじ1/2
- 出農リンゴジャム……………大さじ1
- 氷……………500g
- B 塩……………165g
- 水……………100cc

- ⑥Bを入れたジッパー付大袋の中に⑤を袋ごと入れ、空気を入れてジッパーを閉める。タオルを巻いてアイスが固まるまで10分程度袋を振る。
- ⑦Aを鍋に入れて混ぜながら中火にかける。沸騰してから30秒程度、焦がさないように煮詰めてソースを作る。
- ⑧飾り用のリンゴを2mm厚さにスライスし、その上にアイスを盛り付ける。⑦のソース、リンゴジャム、ミックスナッツ、ミントを飾って出来上がり。

【編集後記】

「12月号しまねうれしび」掲載用レシピを、出雲農林高校家庭クラブ2年生のみなさんに依頼したのは夏休み前のこと。どのレシピも計算された4人分の材料、料理の写真、拘りやアレンジ方法が丁寧に書いてありました。猛暑の上、短かった夏休みに冬のレシピを考えるのは大変だったと思います。心よりお礼申し上げます。（木村）